

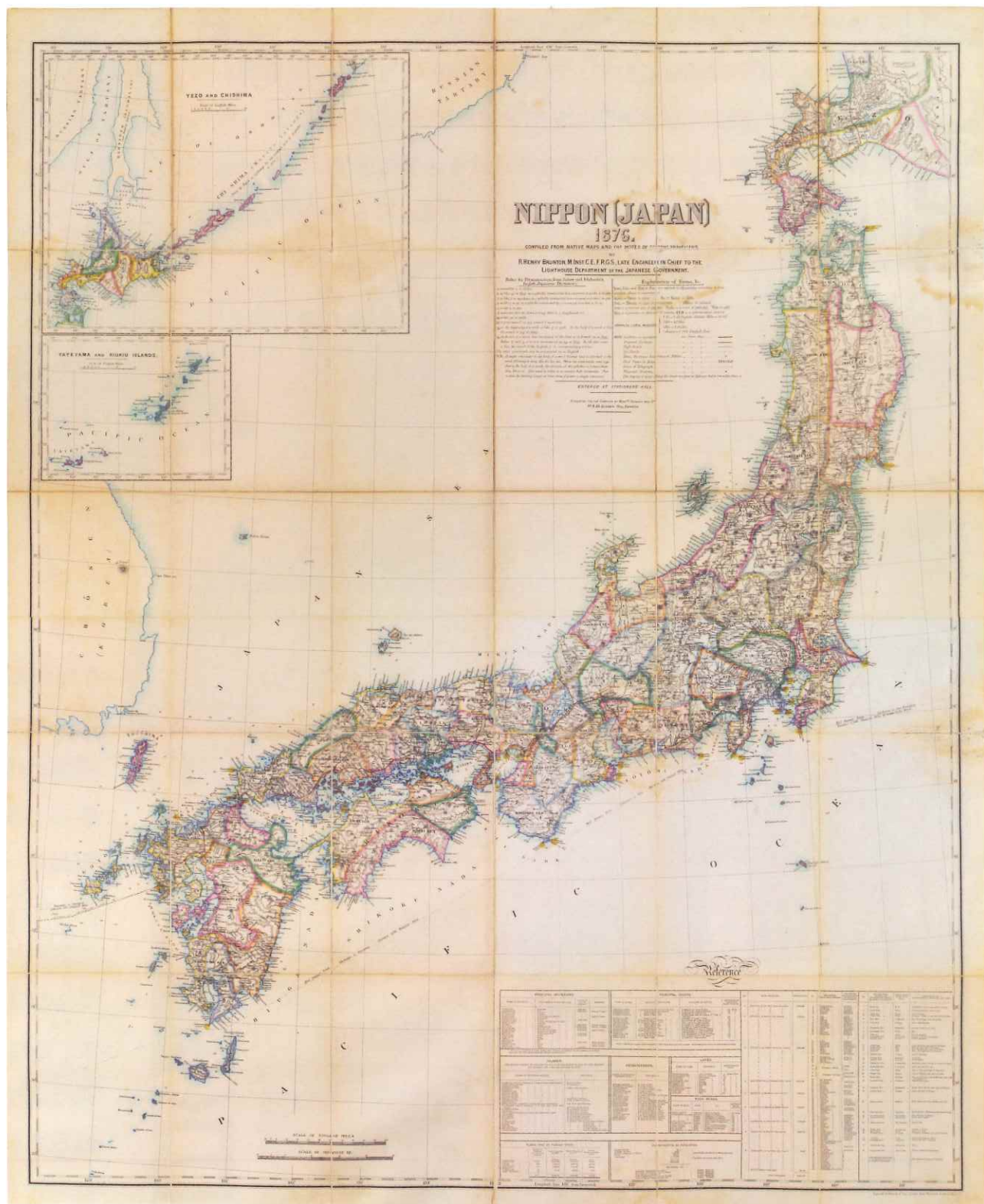
国立歴史民俗博物館 総合展示

2026

3/17 Tue.

第5室「近代」

リニューアルオープン



プラント「日本図」(複製) 本館蔵

その先の人びとの経験



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国立歴史民俗博物館

National Museum of Japanese History

近代をむかえる

近代がやってくる

国民の誕生

19世紀なかば過ぎ、日本は世界的な通商条約網に組み込まれました。明治維新はこうしたなかで行われ、新政府は近代国家をつくりはじめます。資本主義のしくみを整え、学校や軍隊を軸にして人びとを〈国民〉とする政策が行われました。「文明開化」は人びとの意識や生活様式を変えていきます。やがて日本は対外戦争を経て植民地を持つ国になります。こうした経験のなかで人びとは自らを〈国民〉と意識するようになっていきました。



ペリー首里城より帰還の図（複製）



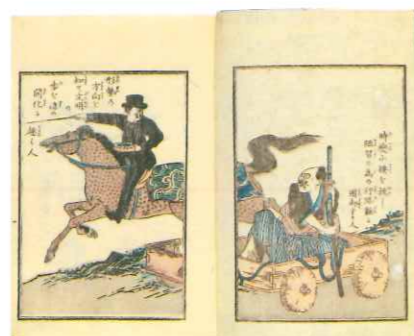
『男女同権論』



沖繩對話（改正再版）



清朝南京人 亞墨利加婦人 魯西亞軍師



開化の本



足尾町商業案内便覧図（複製）



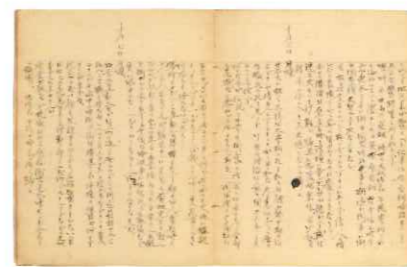
『風俗画報』増刊第234号 足尾銅山図説



中国向け輸出マッチ（複製）

近代化する人びとの暮らしと仕事

資本主義経済の発展、貿易の拡大、植民地の獲得などによって、日本の産業構成や労働のあり方は大きく変化し、家族や暮らし、地域社会にも影響をおよぼしました。近代の日本は農家や商家などの自営業が多数を占める社会でした。しかし、しだいに工場や鉱山で雇われて働く人びとが増加すると、農村からの移動が促され、新たな暮らしの場がかたちづくられていきます。ここでは暮らしと仕事に焦点をあてて、近代社会とは何かを考えてみましょう。



貧乏教員之手記



二十四時家庭双六



鉄道おもちゃ



ヌン（メガネ）



白蝶貝・白蝶貝からきたボタン



ハワイ 布哇新聞



全世界開闢以来ノ決死の大放し業 人間大砲



30キロ入り朝鮮米の米袋

20世紀初頭、日本は植民地や勢力圏を持つ帝国となっていました。帝国の社会関係は、植民地と本国、都市と農村、生産と消費といった領域で、支配と被支配、排除と包摂、中心と周辺などの要素が複雑に重なりあっていました。帝国にくらす人びとの関係も対等ではなく、それは性差といった人びとのありようにも及んでいました。帝国日本の姿はどのようなものだったのか、人びとの生活と社会という観点から、みつめてみましょう。

帝国日本の社会と人びと

アイヌ にせつての 近代

第5室では 「アイヌにとっての近代」
「琉球・沖縄からみた近代」
「水平」をめざして」

という3つの視点も設けています。これらは、それぞれ独自の歴史や文化を育んだ人びとが経験した近代社会のありようを深めるための展示となっています。また違った角度から近代社会を考える手がかりともなるでしょう。

琉球・沖縄 からみた 近代

「水平」を めざして



第5室リニューアルにもなって、第6室「現代」の冒頭、「膨張する帝国」と「兵士の誕生」の一部も新しくなります。

ご利用案内

- 開館時間 3月～9月 9:30～17:00 (入館は16:30まで)、10月～2月 9:30～16:30 (入館は16:00まで)
- 入館料 (2026年3月17日より)
 - ※団体は20名以上です。
 - ※高校生以下・18歳未満の方は無料です。(年齢の分かる証明書等をご提示ください。)
 - ※大学生(専修学校等含む)の方は、学生証等(学校の発行する公的書類)をご提示ください。
 - ※障がい者手帳等保持者は手帳等のご提示により、介助者とともに入館無料です。
 - ※企画展示の入館料は、その都度別に定めます。
- 総合展示
 - 一般：個人 900円 団体 800円
 - 大学生：個人 500円 団体 400円
- 休館日 毎週月曜日(休日にあたるときは開館し、翌平日休館) 年末年始(12月27日～1月4日) その他、年10日程度休館日あり、館のホームページをご確認ください。

交通案内

【京成電鉄利用の場合】

京成佐倉駅下車、徒歩約15分またはバス約5分「国立博物館入口」か「国立歴史民俗博物館」下車

【JR東日本利用の場合】

総武本線佐倉駅下車、バス約15分「国立博物館入口」か「国立歴史民俗博物館」下車

【自動車利用の場合】

東関東自動車道 四街道ICまたは佐倉ICから約15分、国道296号沿い(駐車場あり)



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立歴史民俗博物館
National Museum of Japanese History

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町 117
お問い合わせ ハローダイヤル：050-5541-8600
れきはくホームページ <https://www.rekihaku.ac.jp>

最新の情報はホームページ等をご確認ください。

※館内メンテナンス・悪天候等、諸般の理由により、開館日・開館時間等を変更する場合があります。最新の情報は館のホームページ及びSNSをご確認ください。

